

鈴木原子力委員会委員長代理の海外出張について

平成22年3月16日

1. 出張先

米国(アルバカーキ、カールスバッド、ワシントンD. C.)

2. 出張期間

平成22年3月23日(火)～3月31日(水)

3. 渡航目的

アルバカーキのサンディア国立研究所^{※1}を訪問し、米国の核セキュリティ技術の視察を行うとともに、有識者との意見交換を行う。また、カールスバッドの核廃棄物隔離施設(WIPP)^{※2}を訪問し、米国の放射性廃棄物地層処分の状況を視察する。さらに、ワシントンD. C. において、エネルギー省(DOE)、原子力規制委員会(NRC)及び米国の原子力の将来に関する有識者委員会^{※3}(ブルーリボン・コミッティ)委員と会談し、日米の原子力政策について意見交換を行う。

※1 サンディア国立研究所(Sandia National Laboratories)は国家安全保障に関する研究を行う国立研究所。核不拡散・核セキュリティに関する研究を行っており、核物質の防護、封じ込め、監視等について技術を持つ。

※2 核廃棄物隔離施設(Waste Isolation Pilot Plant、WIPP)は長半減期低発熱放射性廃棄物(TRU廃棄物)の地層処分施設。1999年から放射性廃棄物の地層処分が行われている。

※3 米国の原子力の将来に関する有識者委員会(Blue Ribbon Committee on America's Nuclear Future)は、オバマ政権におけるユッカマウンテン計画の中止に伴い設置された、放射性廃棄物管理方法に関して検討を行うための特別諮問委員会。本年1月にエネルギー省が発表した15名の委員で構成される。

4. 主要日程

3月23日(火) 成田発 → ロサンゼルス → アルバカーキ着
24日(水) サンディア国立研究所訪問
アルバカーキ発 → カールスバッド
25日(木) WIPP訪問
カールスバッド発 → アルバカーキ
26日(金) アルバカーキ発 → ワシントン・ダレス着
DOE担当者との意見交換
29日(月) NRC担当者との意見交換
ブルーリボン・コミッティ委員との意見交換
30日(火) ワシントン・ダレス発 →
31日(水) 成田着

以上